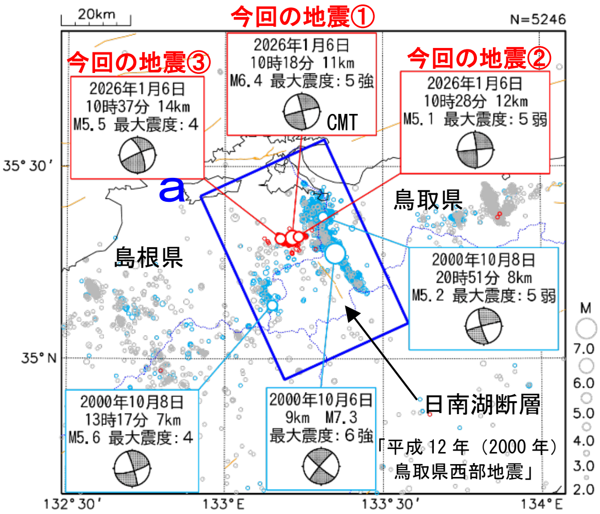
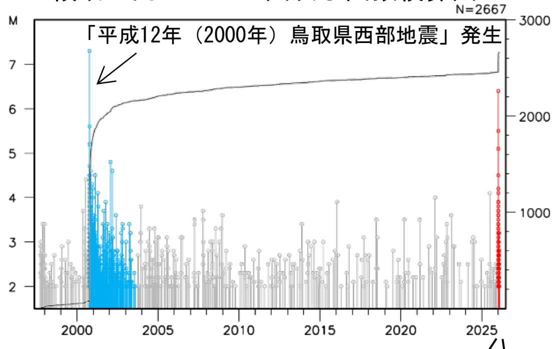
１月６日　島根県東部の地震

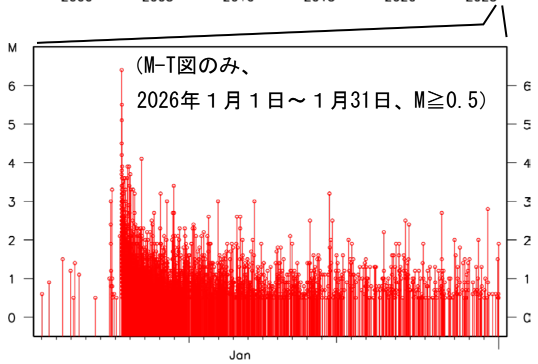
震央分布図
（1997 年 10 月１日～2026 年１月 31 日、
深さ０～30km、M≧2.0）
2000 年 10 月～2003 年９月の地震を水色、
2026 年１月の地震を赤色、
上記以外の期間の地震を灰色で表示



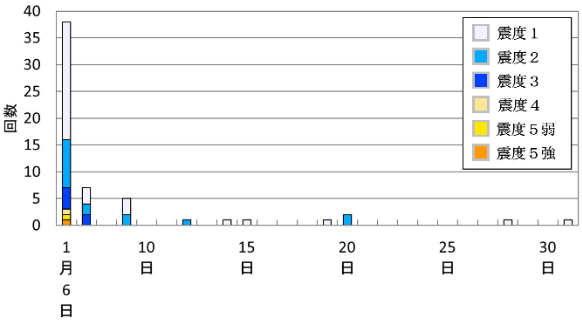
震央分布図中の橙色の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図





最大震度別地震回数（日別）
（2026 年１月６日～１月31日、震度１以上）

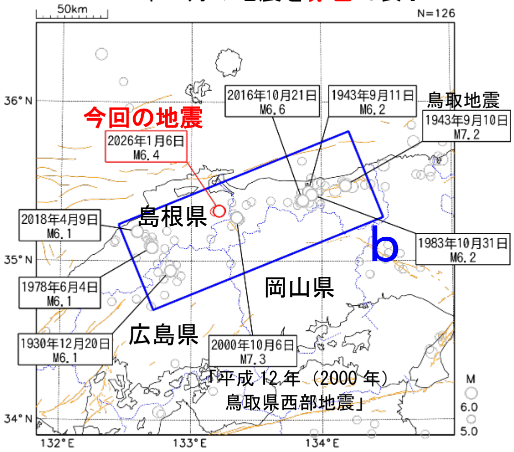


2026年１月６日10時18分に島根県東部の深さ11kmでM6.4の地震（最大震度５強、図中①）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震の震央付近では、５日16時43分にM3.0の地震（最大震度１）及び同日18時42分にM3.3の地震（最大震度２）が発生した。また、M6.4の地震発生後には、６日10時28分にM5.1の地震（最大震度５弱、図中②）及び同日10時37分にM5.5の地震（最大震度４、図中③）が発生するなど、M5.0を超える地震が発生した。６日から31日までに震度１以上を観測した地震が58回（震度５強：１回、震度５弱：１回、震度４：１回、震度３：６回、震度２：16回、震度１：33回）発生した。この地震により、負傷者15人、住家一部破損114棟の被害が生じた（被害は2026年１月14日17時00分現在、総務省消防庁による）。

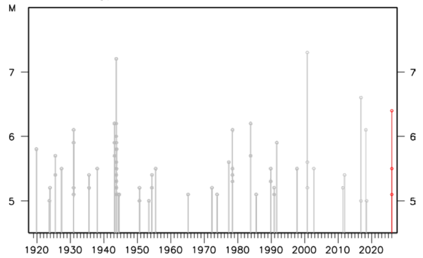
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域ａ）では、「平成12年（2000年）鳥取県西部地震」が発生している。この地震により、負傷者182人、住家全壊435棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域ｂ）では、M6.0程度の地震が時々発生している。このうち、1943年９月10日に発生したM7.2の地震（鳥取地震、最大震度６）では、死者1,083人、住家全壊7,485棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図
（1919 年１月１日～2026 年１月 31 日、
深さ０～30km、M≧5.0）
2026 年１月の地震を赤色で表示

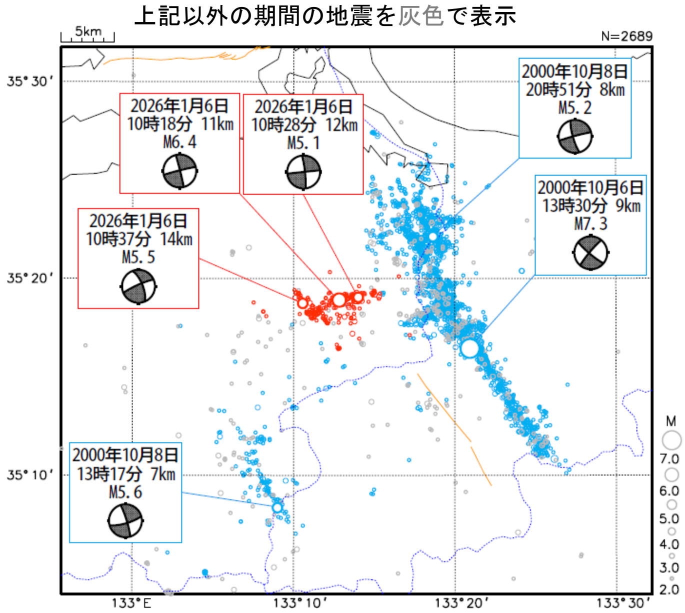


領域ｂ内のＭ－Ｔ図

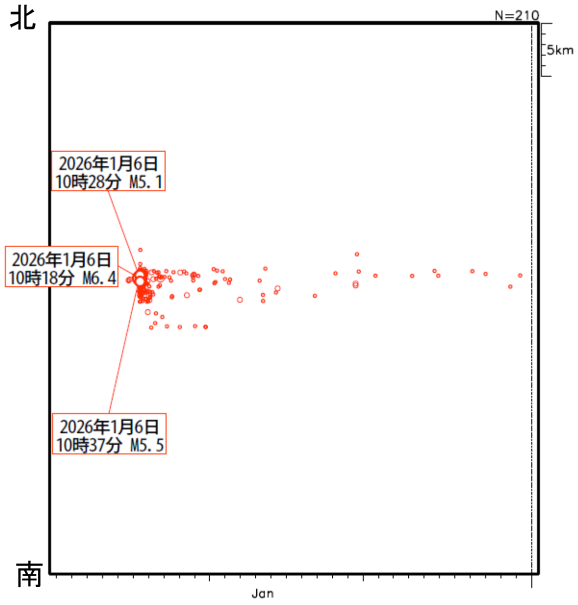


気象庁作成

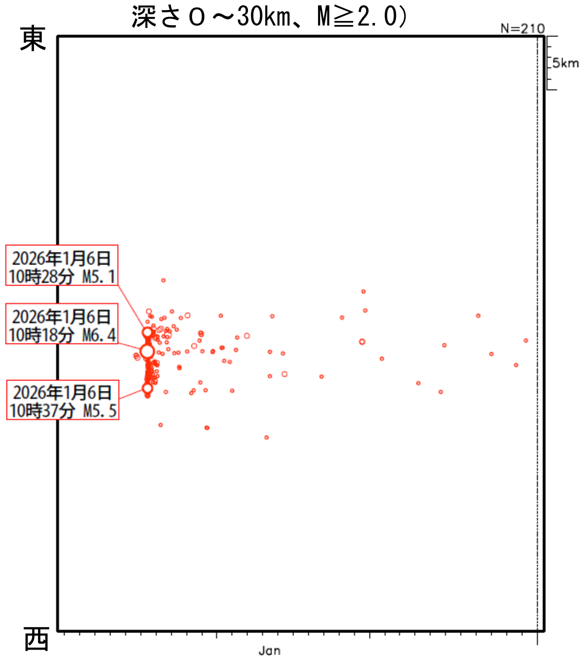
震央分布図（前ページの拡大図）
（1997 年 10 月１日～2026 年１月 31 日、
深さ０～30km、M≧2.0）
2000 年 10 月～2003 年９月の地震を水色、
2026 年１月の地震を赤色、
上記以外の期間の地震を灰色で表示



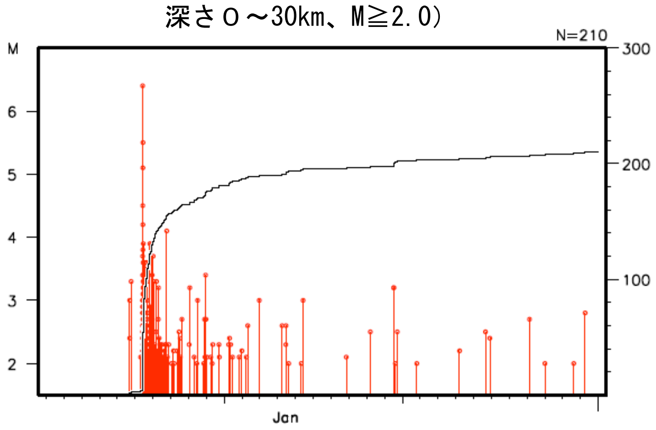
震央分布図内の時空間分布図（南北投影）
（2026 年１月１日～１月 31 日、
深さ０～30km、M≧2.0）



震央分布図内の時空間分布図（東西投影）
（2026 年１月１日～１月 31 日、
深さ０～30km、M≧2.0）



震央分布図内のＭ－Ｔ回数積算図
（2026 年１月１日～１月 31 日、
深さ０～30km、M≧2.0）



気象庁作成